

# 風の輪

風の輪 第5号

社会福祉法人 水仙福祉会  
〒533 大阪市東淀川区小松1丁目13-20  
☎06-328-4019 Fax06-325-9710

題字 岡村 重夫



40周年記念式典

## 風の子保育園創立四十周年記念式典と記念の集い 盛大に四十周年を締めくくる

過去を回顧するだけでなく、四十周年の節目を未来へ飛躍する踏切台としたい。そのような願いのもとに、一月二十五日、記念式典と記念の集いが催されました。午前の記念式典は水仙の家で多くの来賓の方々を迎えて盛大に行われました。式典では四十周年の歩みを詩の形で綴った構成詩「風の子保育園四十年」や四十周年記念讃歌が披露され会を盛り上げました。保育園での記念の集いでは模擬店がにぎわい、水仙の家で行われた子育てトークでは、会場に入り切れないほどの人が集まり、和やかな中にも熱気あふれるトークを展開しました。今年度は四十周年を記念するさまざまな行事が行われましたが、この式典と集いはそれらの諸行事を締めくくるものになりました。

### 盛況の模擬店 旧交を温めた集い

記念式典が厳粛に行われる一方で、保育園の会場ではたこ焼き、焼きそばなどの模擬店や人形劇など親子で楽しめる催しが行われました。模擬店や喫茶コーナーでは法人各施設の職員はもとより、風の子そだち園の保護者の方々や多くのボランティアの皆さんにお手伝いいただきました。店には、十一時の開始と同時に大勢の方々がつめかけ、すべての店で早い時間に売り切れてしまいました。プレイルームで行われた人形劇も好評。劇間に保育園の古い時代を写したビデオが放映され、そこに幼かった頃の自分たちやわが子を見つけ、皆さん感慨深げでした。成人

した卒園児や旧職員も久しぶりの再会に旧交を温め、各保育室は新旧入り交じって昔話に花が咲きました。

### 子育てトーク 「親の願い 子どもの 思い」

子育てトークでは、まず事前のアンケートで集まった親の声、子どもの声の報告があり、子どもの側からの、親に「してほしいこと」、「してほしくないこと」、「してほしいこと」に表れた子どもの素直な気持ちは場内の保護者の方々にハッと考えさせるものがあったよう

です。トークでは、父の立場、母の立場からの意見、保育園に行っていたころを振り返っての意見など四人のパネラーの発題があり、助言者からの意見、会場からの発言などで進みました。

「私、保育園では寂しくて、行くのがいやだったんです。」という元保育園児でパネラーのUさんの言葉や、忙しい仕事の中で三人の子どもを育てたTさんの「私は子どもも手本になるようなことは何もできなかったから、子どももすることに本当に感心して、ほめることばかりだったんです」など、ざっくばらんな本音の発言に、なにかホッと共感の思いが会場内にわくのが感じられました。

限られた時間の中でのトークでしたが、子育てにいろいろな思いをもって参加した方々が、それぞれの体験を共有し、共感できる場所があったのではないのでしょうか。そして、この「共有」が子育てに余裕をもたらす大切なもののように思われました。ちょっと心が元気になったひとときでした。